

本時の目標
 大学進学志望動機の一つとして、住みやすさ・暮らしやすさについて、比較検討できるようにする。

教材
 人口
 人口密度
 3.3平米の家賃平均
 パートタイム男女平均給与

本時の流れ

	主たる学習活動と 教師の主な発言	予想される生徒の主な反応	指導上の留意点
導入	「大学選びの基準の一つとして、住みやすさ・暮らしやすさとはどういうものだと考えますか」	<ul style="list-style-type: none"> ・家賃が安いこと ・人口が多い(少ない)こと ・アルバイト料が高いこと ・便利なこと(コンビニが多い等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例を出させる。
展開・活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教材データを提示する A「比較できるグラフを作ってみよう」 B「任意の二つのデータの関連性を調べてみよう」(散布図) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ - の比較グラフの作成 ・ 以外の任意の二つのデータの散布図の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・相関性があるのか考えさせる。 ・全体的な傾向と突出した状況に着目させる。
まとめ	「大学に進学する場合、自分の住んでいる県と比較して、どの都道府県に住みたいですか。グラフを見て判断してください」	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに発表する。 ・都市部とそれ以外に分け、それぞれで理由を集約する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あくまでもデータから読み取れる範囲で考えさせる。(ディズニーランドがあるか) ・自分なりの理由も述べさせる。 ・他にどのような指標があるか考えさせる。
次時へ	<ul style="list-style-type: none"> ・たてやよこに分布している相関について、他にどのような指標をもとに考えればよいか検討 		<ul style="list-style-type: none"> ・本時(与えられたデータから考える)

相関係数

	人口	人口密度	賃金	家賃
人口		0.88	0.67	0.89
人口密度	0.88		0.70	0.87
賃金	0.67	0.70		0.81
家賃	0.89	0.87	0.81	